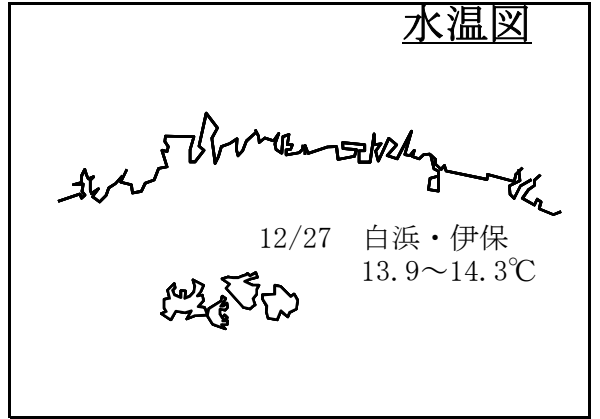


兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 8号)

平成30年12月28日発行
 兵庫のみ研究所

この海域沿岸域において多様な珪藻が多く発生しており、窒素は地先漁場の一部を除き概ね2~4 $\mu\text{g at/L}$ と減少傾向にあります。沖合漁場では全般にこれら珪藻の大きな増殖は見られておらず、窒素は概ね5~8 $\mu\text{g at/L}$ でした。気象情報によると、この先晴天が続く予報となっていますので、これら珪藻の動向や海況が注視されます。

(**栄養塩、珪藻**) 地先漁場全域においてキートセロスやタラシオンラといった小型珪藻、連鎖状で肉眼視される珪藻等が多く発生しており、窒素が低い値を示した。沖合においても、地先に面した家島地区の青井やカジ漁場でこれら珪藻がやや目立って確認されており、窒素は5 $\mu\text{g at/L}$ 前後であった。それ以外の沖合漁場では、珪藻は散見される程度と少なく窒素は前回(12/5)調査並の値であった。



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	8.7	4.0	3.5	5.7
	リン	0.50	0.49	0.45	0.64
家島・坊勢	窒素	6.5	7.1	5.8	7.7
	リン	0.67	0.68	0.66	0.80

(12/5) (12/27)

栄養塩 (窒素) 図

平成30年12月27日調査

